

平成20年度政策重点指針について

新おかやま夢づくりプランでは、最小の費用で最大の効果を上げるような施策・事業を推進するとともに、優先的に取り組むべき喫緊の課題に対して、機動性を持ち柔軟に対応していく必要があることから、県政推進に当たっての重点的な推進方向を示すものとして、年度ごとに政策重点指針を策定することとしており、この度、平成20年度の指針を別紙のとおり策定した。

《平成20年度政策重点指針の概要》

1 基本方針

真の分権型社会の確立等に向け、「創造のための改革」をさらに推進するとともに、岡山市の政令市移行への協力や市町村への事務・権限の移譲、県政運営における透明性の一層の向上等に努める。

新プランの行動計画の推進に当たっては、「協働の県政」を基調として、諸施策を着実に進めるとともに、3つの基本戦略やそれらを横断する政策についての重点的な推進方向を示し、「選択と集中」の観点から施策・事業の重点化を図る。

2 基本戦略ごとの政策の推進

(1) 「教育と人づくりの岡山」の創造

子どもを健やかに生み育てる環境づくりと将来を担う人づくり

(2) 「安全・安心の岡山」の創造

子どもや高齢者等が安全で安心して暮らせる地域社会づくり

(3) 「産業と交流の岡山」の創造

海外を視野に入れた産業の振興と交流の推進

3 地方分権改革及び横断的政策の推進

(1) 地方分権型行政システムの確立

(2) 誰もが活躍できる多様な機会を提供する社会づくり

(3) 地域の特色ある資源等を生かしたまちづくり・むらづくり

(4) 岡山からの情報発信と拠点性の向上

平成20年度政策重点指針

平成19年11月15日
岡山県

本県では、「快適生活県おかやま」の実現に向けて、目指すべき将来像や数値目標を掲げた県の行動計画である「新おかやま夢づくりプラン」を策定し、自立と協働を基本としながら、個性豊かで活力ある地域づくりを進めている。

一方、県の財政は、今後も巨額の収支不足が続くことが見込まれる危機的な状況にあり、今まで以上に限られた財源を有効に配分し、社会経済情勢の変化や県民ニーズ等に的確に対応していくことが強く求められている。

このため、最小の費用で最大の効果を上げるような施策・事業を推進するとともに、優先的に取り組むべき喫緊の課題に対して、機動性を持ち柔軟に対応していくことが必要である。

こうしたことから、新プランでは、県政推進に当たっての重点的な推進方向を示すものとして、年度ごとに政策重点指針を策定することとしており、ここに平成20年度の指針を示すものである。

1 基本方針

地方分権改革に向けた取組が大きな展開を見せる中、自己決定・自己責任を原則とする真の分権型社会の確立と、その究極の姿といえる道州制の導入に向けて、国と地方の役割分担を抜本的に見直し、新しい「国のかたち」をつくるという観点も踏まえ、既成の枠組みや固定的な発想にとらわれることなく、事務・事業の大胆な見直しを行い、「創造のための改革」をさらに推進する。

平成21年4月の政令指定都市移行を目指す岡山市の取組に対し、県民・市民の視点に立って、その円滑な移行に協力するとともに、県と市町村の関係全般においても、適切な役割分担の下、市町村への事務・権限の移譲を進め、住民に最も身近な基礎自治体としての自立力の向上を図る。

このように地方の自立力向上が求められる中、談合、虚偽報告、不当表示といった行政に関係する不祥事が全国各地で続発していることから、県政運営における説明責任や透明性の一層の向上に努めるとともに、市町村も含め社会全体の法令遵守意識の醸成を図る。

新プランの行動計画の推進に当たっては、「協働の県政」を基調として、それぞれの戦略プログラムに掲げる夢づくり協働指標の目標達成等に向け、引き続き諸施策を着実に進めていくことはもとより、過疎化・高齢化が進行し、集落機能の低下等が生じつつある中山間地域の活性化対策、団塊世代をはじめとした人々のライフスタイルの多様化への対応といった喫緊の課題に対しては、部局の枠を超えた総合行政を戦略的に推進する。

新プランの3つの基本戦略を踏まえた重点的な推進方向として、「子どもを健やかに生み育てる環境づくりと将来を担う人づくり」、「子どもや高齢者等が安全で安心して暮らせる地域社会づくり」及び「海外を視野に入れた産業の振興と交流の推進」を強力に進めていく。

さらに、基本戦略を横断する重点的な政策課題として、「誰もが活躍できる多様な機会を提供する社会づくり」、「地域の特色ある資源等を生かしたまちづくり・むらづくり」及び「岡山からの情報発信と拠点性の向上」に適切に対応する。

以上のような考えに基づき、施策・事業の重点化を図り、「選択と集中」の観点から、財源についても従来の枠にとらわれることなく、重点的に配分する。

2 基本戦略ごとの政策の推進

(1) 「教育と人づくりの岡山」の創造

子どもを健やかに生み育てる環境づくりと将来を担う人づくり

少子化傾向が続く一方で、非行や生活習慣の乱れ、いじめ、不登校、児童虐待など、子どもたちを取り巻く状況は深刻化している。このため、子育てと仕事の両立支援や子育て家庭の育児不安解消への取組等を通じ、家庭や地域で安心して子どもを健やかに生み育てる環境の整備を進めるとともに、児童虐待防止対策については、関係機関、関係団体等と連携しながら、強力に取組を進める。また、学校教育への関心が高まる中、子どもの学習意欲を高め、確かな学力の向上を図るとともに、豊かな心の育成を進めるなど、これからの岡山を担う人材の育成に向けた取組を積極的に推進する。

さらに、発達障害児への早期支援体制や児童数が急増している特別支援教育を充実させるなど、障害児を総合的に支援する施策を推進する。

<重点化する施策・事業>

○子育て支援のための施策

○確かな学力の向上と豊かな心の育成を図る施策や特別支援教育の推進

(2) 「安全・安心の岡山」の創造

子どもや高齢者等が安全で安心して暮らせる地域社会づくり

犯罪や事故がなく、保健・医療サービスが充実し、災害に強い「安全・安心」が確保された社会は人々の生活にとって不可欠の基盤である。このため、子どもや高齢者の犯罪被害等の未然防止のための取組を強化するとともに、高齢者や障害者等への医療や介護サービス等の安定的な提供に努めるなど、すべての人が安全で安心して暮らせる地域社会づくりに取り組む。また、学校施設等の耐震化対策を優先的に実施するとともに、近年の気象状況の変化等に対応した防災基盤の整備や防災対策、橋梁等老朽化が進む社会資本の長寿命化対策を進める。

加えて、人類共通の最重要課題である地球温暖化対策について、県民あげた取組を推進・強化する。

<重点化する施策・事業>

○子どもや高齢者、障害者の地域や家庭での安全・安心な暮らしを確保するための施策

○防災基盤の整備や橋梁等社会資本の長寿命化の推進、学校施設等の耐震化を進めるための施策

○地球温暖化を防止するための施策

(3) 「産業と交流の岡山」の創造

海外を視野に入れた産業の振興と交流の推進

産業が活力に満ち、交流が活発に行われる岡山づくりのためには、首都圏をはじめとした国内はもとより、海外を視野に入れた競争力ある産業を育成するとともに、岡山ならではの魅力を高めていくことが重要である。このため、産学官連携により新製品・新技術を生み出す産業クラスターの形成、産業を支える優秀な人材の育成、中小企業の新たな市場開拓や生産性の向上に対する支援など力強いものづくり産業の振興、新規就農者や企業参入も含めた力強い経営体の確保・育成、高品質な農林水産物の生産振興とブランド化など攻めの農政を推進するとともに、地域観光資源の魅力向上や効果的な情報発信等による誘客の促進と交流人口の拡大を図る。

<重点化する施策・事業>

- 産業クラスターの育成を図り、新産業の創出を促す施策
- 中小企業の競争力を強化し、グローバル化を進めるための施策
- 農林水産業の担い手の確保・育成や、高品質な農林水産物の生産振興を推進するための施策
- 地域観光資源の魅力向上や効果的な情報発信等による誘客の促進等を図るための施策

3 地方分権改革及び横断的政策の推進

(1) 地方分権型行政システムの確立

地方の活力なくして国の発展はないことから、第二期地方分権改革の進展に合わせ、的確な対応を行うための体制整備を図りながら、国等に対して地方への権限・事務の移譲、地方税財源の充実等を積極的に提案するとともに、さらなる行財政改革と「協働の県政」の推進に取り組む。さらには、地方分権改革の究極の姿といえる道州制の導入に向けて先導的な役割を果たすとともに、中四国州実現に向けた気運の醸成等に努める。

<重点化する施策・事業>

- 地方分権改革の推進と道州制・中四国州の実現に向けた施策

(2) 誰もが活躍できる多様な機会を提供する社会づくり

ボランティア・NPO活動の支援、コミュニティビジネスの立ち上げ支援や、社会人の学び直しの機会の提供などを通じ、多様な主体が地域づくり活動に参加しやすい環境づくりを進めること等により、高齢者、団塊世代をはじめ、世代を超えてすべての人がその個性に応じて元気に活躍する多様な機会を提供する複線型社会づくりを推進する。

<重点化する施策・事業>

- 団塊世代や高齢者等の就労や社会活動参加を支援するための施策

(3) 地域の特色ある資源等を生かしたまちづくり・むらづくり

農山漁村と都市部との交流や企業との連携、さらには地域内での連携強化等を通じ、中山間地域をはじめとした地域活性化の新たな展開を図るため、歴史・文化や自然環境、特産品といった地域の特色ある資源を生かすとともに、中山間地域においては遊休農地等の積極的な利活用を推進するなど、地域に即した活性化策により、県内各地域の個性がきらめき、夢が広がるまちづくり・むらづくりを進める。

<重点化する施策・事業>

- 限界集落対策をはじめとした中山間地域の活性化のための施策

(4) 岡山からの情報発信と拠点性の向上

中四国の拠点としてグローバルに発展する岡山を目指し、岡山の魅力を高める地域づくりや拠点性を高める基盤整備を進めるとともに、国際会議、全国会議等を通じた岡山からの情報発信を推進する。

<重点化する施策・事業>

- 瀬戸大橋開通20周年記念事業、全国都市緑化フェアの開催
- 国民文化祭に向けて岡山発の文化を育て、全国に発信するための施策